



第1期の運用状況と当面の運用方針

グローバル仮想世界株式戦略ファンド
愛称：フューチャーメタバース
追加型投信/内外/株式

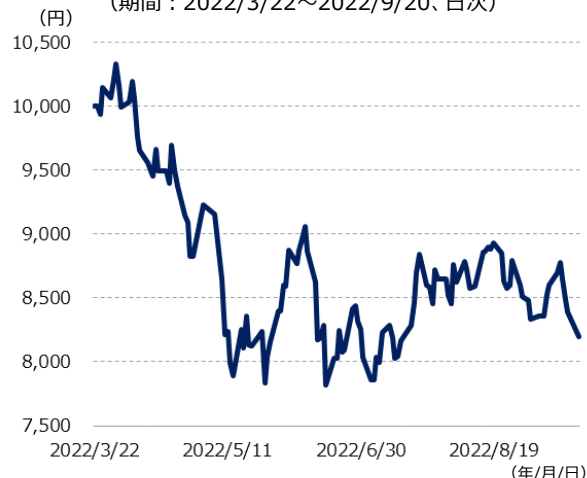
- 平素は「グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称：フューチャーメタバース）」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年3月22日に設定した当ファンドは、9月20日に第1期決算を迎えました。
- 本レポートでは、第1期決算の運用報告に加え、投資先ファンドである「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」の運用を担当するポートフォリオ・マネジャーのコメントをご紹介します。

第1期の基準価額の推移と投資環境

当ファンドの第1期(2022年3月22日～9月20日)末の基準価額は8,200円となり、期間騰落率は▲18.0%となりました。

この間の投資環境を見ますと、米国をはじめとした各中央銀行の金融引き締めや中国の都市封鎖(ロックダウン)、ウクライナ情勢の膠着などから景気減速懸念が高まり、世界的に株価は下落基調となりました。7月中旬から8月中旬にかけては、主要企業の決算が続々と発表され、全般的に企業業績が底堅く推移していることが確認されたほか、景気減速懸念やエネルギー価格の下落を背景に米長期金利が低下に転じ、株価は反発しました。しかしその後は、米国で開催された経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」においてパウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長がインフレ退治に向けた金融引き締め方針を明確に示したことで、早期の利上げ打ち止めを見込んでいた投資家に動揺が広がり、株価は再び下落する展開となりました。

[図表1. 第1期の基準価額の推移]
(期間：2022/3/22～2022/9/20、日次)



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆又は保証するものではありません。

第1期の投資行動

メタバースの普及に伴い中長期的な業績成長が期待できる銘柄に積極的な投資を実施しました。ポートフォリオでは、株式市場の変動性が高まる中、株価が上昇した銘柄の売却を実施し、割安感の強まった銘柄や相対的に業績見通しが良好な銘柄に新規投資を行うなど、機動的な銘柄入れ替えを行いました。

具体的には、ヘッドマウントディスプレイなどの電子デバイスの製造受託サービスを手掛ける中国のゴーアーテック(情報技術)について、株価の下落により割安感が強まったと判断し、新規組入れを実施しました。また、パーク、メディア、コンシューマー・プロダクツ、スタジオ・エンターテインメントを展開する米国のウォルト・ディズニー・カンパニー(コミュニケーション・サービス)について、新規組入れを実施しました。同社は、ディズニーのキャラクターなど多くの人気コンテンツを有しており、それらの高品質なコンテンツを仮想世界にも展開することで、今後の業績成長が期待できます。一方、ID管理などの分野で強みを有する米国のセキュリティソフトウェア企業セールポイント・テクノロジーズ・ホールディングス(情報技術)は、米国の投資会社による同社買収が発表されたことが好感され、株価が大幅上昇。割安感が解消されたと判断し、全売却を実施しました。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

基準価額に対してプラス寄与となった主な銘柄

◎ セールポイント・テクノロジーズ・ホールディングス (SailPoint Technologies Holdings)

同社は、メタバースにおいても重要となるID管理の分野で強みを有する米国のセキュリティソフトウェア企業です。米国の投資会社Thoma Bravoによる同社買収が発表されたことで株価が大きく上昇しました。Thoma Bravoはソフトウェアやテクノロジー企業への投資に強みを持つ投資会社であり、テレワークが普及しID管理を中心としたセキュリティの重要性が高まる中、業界をリードする同社を高く評価したものとと思われます。当ファンドでは株価上昇により割安感が解消されたと判断し、全売却を実施しました。

◎ クレド・テクノロジー・グループ・ホールディング (Credo Technology Group Holding)

同社は、メタバースの通信インフラを支える米国のネットワーク機器メーカーです。中国の都市封鎖(ロックダウン)がサプライヤーに影響を及ぼすと見られていたものの、2022年2-4月期の決算で予想を上回る業績を発表したほか、強気の見通しを発表したことが好感されました。また、同社の株価が下落していたタイミングでウェイトを引き上げていたこともプラスに寄与しました。同社は高速通信ケーブルの分野で顧客基盤を拡大しており、メタバースに不可欠なHPC(ハイパフォーマンスコンピューティング)、5Gネットワークなどに牽引されるデータセンター需要拡大の恩恵を受けると考えます。

◎ シノプシス (Synopsys)

同社は、EDAツール(Electronic Design Automation : 半導体自動設計ツール)のマーケットリーダーであり、EDA市場の3分の1程度のマーケットシェアを有しています。2022年2-4月期決算が市場予想を上回ったことに加え、半導体メーカーなど顧客からの需要が高まるとの見方から株価が上昇しました。メタバース拡大により半導体需要が増大するにつれ半導体設計を自動化するEDAツールの重要性は高まっていくものと見られ、同社は長期的な成長が期待できます。

基準価額に対してマイナスに影響した主な銘柄

◆ ユニティ・ソフトウェア (Unity Software)

同社は、メタバース世界の構築に用いられるゲームエンジン(バーチャル上で3Dモデルをリアルタイムに動作させる)を提供する会社です。ソフトウェアの不具合によりターゲット広告のパフォーマンスが低下したことが影響し、予想を下回る業績見通しを発表したことで株価が下落しました。見通しの悪化や、ironSource(アプリの収益化プラットフォームを提供するイスラエル企業)との合併を控えた業績の不透明感などからウェイトを引き下げています。

◆ エヌビディア (NVIDIA)

同社は、ハイエンドGPUのマーケットリーダーであり、メタバースを滑らかに動作させるために必要な半導体を製造しています。金利上昇を背景に株価バリュエーションが低下したほか、ゲーミング市場向け売上の減速や、中国への半導体輸出が規制されるとの懸念から株価が下落しました。同社は今後、データセンターや自動車、高速通信、AIなど幅広い分野での成長が期待されるため、引き続き保有を継続しています。

◆ クラウドフレア (Cloudflare)

同社は、メタバースにおいても重要となるウェブ・セキュリティなどのソリューションをクラウドベースで提供するソフトウェア企業です。2022年1-3月期決算が市場予想を上回り、見通しも引き上げたものの、市場からは見通しが保守的と受け止められ株価が下落しました。同社は競争激化とコストの上昇圧力により、2023年には成長が鈍化する可能性があるかと判断し全売却を実施しました。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドのポートフォリオ・マネジャーのメッセージ

【当面の株式市場の見通しと運用方針】

- 当ファンド設定(2022年3月22日)以降、メタバースに関連する世界的な取り組みは着実な進展を見せています。例えば、**人気ゲーム「フォートナイト」を所有する米エピック・ゲームズが日本のソニーグループおよびデンマークの投資会社キアクビから合計20億米ドルの大型出資を受けた**ほか、米メタ・プラットフォームズがカフェでのVR(仮想現実)展示や、教育関係者と学生を対象としたAR(拡張現実)のトレーニング・ワークショップの実証実験を香港で行うことを発表しました。また、中国では、**上海市がメタバース関連企業を支援し、2025年までにメタバースにおける取引規模を520億米ドルに到達させる計画を発表しました**。その他では、メディア・音楽チャンネルを提供する米国のMTVは、同社の米国最大規模の音楽授賞式であるビデオ・ミュージック・アワードのプロモーションのため、オンラインゲームの「ロブロックス」上で、メタバースが体験できる機会を設けるなど、こうした動きは世界的な広がりを見せています。
- 株式市場では、金融政策の見通しに投資家が一喜一憂する展開が続いており、当面は変動性が高い状況が継続する可能性があると考えています。今年に入り、「40年ぶりの高インフレ」や「ロシア・ウクライナ危機」といった未曾有のマクロ環境の変化を受けて、**株式市場ではマクロ要因に注目する「マクロ・トレード」が席捲してきました。この結果、個別企業のファンダメンタルズ(基礎的条件)は見落とされてきたと考えています**。金利上昇をきっかけとしたバリュエーション調整に一巡感が台頭する中、今後は個別企業業績の動向が株価の優勝劣敗を左右するとみています。景気減速による売上の下押し圧力とインフレによるコスト上昇に直面し、企業業績が成長の踊り場に差し掛かる中、**構造的な成長ドライバーを持つ企業は、差別化された業績成長を達成できると考えます**。
- こうした中、メタバース関連企業の中長期的な成長性は高いと考えられ、足元でも着実な取り組みの進展や、メタバースに着目した企業買収が活発化しています。**当運用チームは、変動性が高まる市場環境は魅力的なメタバース関連企業に割安な価格で投資する好機であり、長期的なリターン獲得の可能性は高まっていると考えています**。メタバースは構造的な長期成長テーマであり、メタバースを実現させる革新的な技術を提供する企業や、メタバースにより恩恵を受ける先進的な企業に焦点を当てて投資を行って参ります。

ポートフォリオ・マネジャー
フェリックス・チエン



(出所) ニューバーガー・バーマン ポートフォリオ・マネジャーからのメッセージは2022年9月20日現在のもの。

<作成：運用本部>

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称 フューチャーメタバース）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - ：純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - ：純資産総額×年率1.948%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
 - お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
 - 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称 フューチャーメタバース）
販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

(2022年9月30日現在)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)